

SUZUCHU VOL.78 秋 NOW

●発行日 2024年10月1日
 ●発行 鈴鹿中央総合病院
 ●編集 鈴鹿中央総合病院広報委員会
 〒513-8630 鈴鹿市安塚町山之花1275-53
 TEL 059-382-1311
 URL http://www.miekosei.or.jp/2_sch/
 ●編集協力 TCK名古屋

【道】 医療安全の確保

その先にあるもの

■Salon de news
 ●オープンホスピタル開催

■教えてQ&A
 「MCI (軽度認知障害) について」

■院内【知っ得! 辞典】
 臨床工学技士
 「不整脈治療関連専門臨床工学技士
 植込み型心臓不整脈デバイス認定士の紹介」

■誌面でクッキング
 秋鯖と蓮根の竜田揚げ



SUZUCHU NOW VOL.78 2024 秋

●発行日 2024年10月1日 ●発行 鈴鹿中央総合病院

●編集 鈴鹿中央総合病院広報委員会 〒513-8630 鈴鹿市安塚町山之花1275-53
 TEL 059-382-1311 URL http://www.miekosei.or.jp/2_sch/ ●編集協力 TCK名古屋



院内 知っ得! 辞典



臨床工学技士
田中 直樹

臨床工学技士 不整脈治療関連専門臨床工学技士 植込み型心臓不整脈デバイス認定士

臨床工学技士とは、病院内で医師・看護師などとチームを組んで生命維持管理装置の操作や保守点検を担当する、医療機器専門の医療職です。

専門臨床工学技士は、各領域業務に携わり業務内容を適切に把握し、指導的立場で専門的治療の対応ができる能力(知識・技術・技能)を有する臨床工学技士の育成を目的とし、日本臨床工学技士会によって認定される資格です。不整脈治療関連では、全国で564名(2024年1月現在)が認定されています。

植込み型心臓不整脈デバイス認定士は、ペースメーカーなどの植込み型心臓電気デバイス(CIED)の多機能化、高性能に伴いCIEDに特化して、その管理を専門とする包括的制御として生まれた日本不整脈心電学会の認定資格です。

臨床工学技士が携わる不整脈領域は、CIEDやカテーテルアブレーションなど多岐にわたり、日々新しくなる治療機器を安全に取り扱わなければなりません。これまで以上に多くの専門的知識を習得し、多職種と連携しながら質の高い医療を提供できるよう、邁進いたします。

～秋鯖と蓮根の竜田揚げ～

今回は旬の蓮根と鯖を使った竜田揚げのレシピをご紹介します。皮付きのまま、大きめに切った蓮根がポイントです。旬の味覚をぜひ一度はお試ください。



栄養士
丸川 郁美
(まるかわいくみ)

材料(2人分)

- 真サバ(3枚おろし).....2枚
- レンコン(生).....100g
- 醤油.....大さじ1
- 酒.....大さじ1
- みりん.....小さじ1
- 生姜すりおろし.....小さじ1
- ニンニクすりおろし.....お好みで
- 片栗粉.....適量
- 揚げ油.....適量

〈栄養価〉

- エネルギー.....341Kcal
- たんぱく質.....18.1g
- 塩分.....1.5g



Aの調味料で漬け込む際に、カレー粉や青のりを加えても美味しく召し上がっていただけます。お試しください。

作り方

- ① サバは酒か塩(分量外)を振ってしばらく置き、キッチンペーパーでしっかりと水気を拭きとり、腹骨と中骨を取り除いて食べやすい大きさに切る。
- ② レンコンは皮つきのままよく洗って水気をしっかり取り、やや厚めの半月切り、またはスティック状に切る。
- ③ ポリ袋やジッパー式保存袋にAの調味料、鯖と蓮根を入れて揉み込む。冷蔵庫で30分以上置いておく。
- ④ 鯖と蓮根に片栗粉をまぶし、170～180℃に熱した油で色よくカラッとなるまで揚げ、しっかり油をきる。
- ⑤ お皿に盛り付けお好みでレモンやすだち、大根おろし等いただく。

ご意見に Q&A お答え します!

Q 外来の診療予定が遅れて待ち時間が長いケースがあります。対策をお願いします。

A 長い時間お待たせしてしまい大変申し訳ございません。予約外の救急患者対応や患者さまの病状変化による検査・処置などにより診療時間が延長し、お待たせする場合がございます。待ち時間については、重要な課題と認識しており、医師の事務作業の軽減などにより効率的な診療を行い、現状の改善に努力するとともに、過ごしやすい環境づくりに取り組んで参ります。

「麻雀」

私のおすすめは「麻雀」です。初心者にとって、麻雀は「ルールが複雑」といった印象をもつことが多いでしょう。しかし、実際は基本的なルールを覚えてしまえば、誰でも楽しめます。麻雀には多くの魅力が詰まっていますが、特に代表的な3つを紹介したいと思います。1つ目は「あがったときの達成感」です。麻雀にはパスルゲームの要素があり、そのパスルを完成させたときの達成感を感じることが出来ます。加えてそのパスルは他のプレイヤーとのスピード勝負になるので、ハラハラ・ドキドキする展開が続きます。2つ目は「戦略的な駆け引き」です。麻雀は自分のことだけでなく、相手のことも考えなければなりません。前述のパスル要素に加えて、思考力・洞察力が求められ、相手との戦略的な駆け引きが繰り返されます。そのため、麻雀のプレイスタイルに、性格が垣間見れるとも言っても過言ではありません。3つ目はコミュニケーションが増えることです。上記2つは麻雀のゲーム性の魅力について語っていましたが、違った側面に、友人や家族、仲間と楽しめる点も魅力の1つでしょう。試合中でも、意外に会話が生まれ、世間話、麻雀トークなどで盛り上がることも出来ます。このように、麻雀コミュニケーションを通じて、人間関係を広めたり、深めたりすることが出来ます。今回は3つに絞って麻雀の魅力について述べさせていただきました。他にもたくさん皆さんの魅力があります。今度、ぜひ私と麻雀しませんか?

わたしのすすめ

紹介 研修医 谷井 大貴



次ページ

Coffee Break

アルツハイマー病の新薬が出て、進行を2〜3年遅らせる事ができるようになったのよ

それは朗報ね!

ただ早期の方が対象らしいので診てもらえないと

もの忘れで気になったら早めに脳神経内科へ相談しましょう



SALON DE NEWS

鈴木ニュース

オープンホスピタルを開催しました

令和6年7月15日(月・祝)、当院において医療職に興味がある高校生を対象としたオープンホスピタルを開催しました。実際の医療現場を肌で感じてもらうことを目的に、医師・看護師・薬剤師・その他メディカルの職員が、高校生の方に対して実際の業務の説明や体験、個別相談を行いました。参加者からは、「丁寧に縫合を教えてください、達成感を味わうことができた」「採血の体験をしたことがなかったのですがとても良い経験になり、より看護に関心を持った」「調剤体験が出来てより実感が湧いた」「臨床検査技師や放射線技師のより具体的に専門的な仕事内容について知ることができた」といった体験等に関する声の他、「このオープンホスピタルを通して医師になりたい気持ちがいっそう強まりました」「いつかこの病院で働けるように頑張りたいと思います」といった嬉しい声がありました。これからも私たち医療職に興味と信頼を持っていただけるよう、積極的にオープンホスピタルや、インターンシップを開催していこうと思います。



道

医療安全の確保

…その先にあるもの

医療安全の確保は、医療政策において最も重要な課題の一つである。今号は医療安全推進会議メンバーの代表に話を聞いた。

副院長 稲田

当院の医療安全は、3つの組織で構成されています。1つ目は専従看護師長、事務統括、警察OBの保安員そして医師である私の4名からなる医療安全管理室、2つ目は各部署の管理者から構成される医療安全管理会議、3つ目は各部署の現場担当者から構成される医療安全推進会議です。医療安全管理室の主な業務は、医療安全の確保を目的としたレポートの集計・分析、医療安全に関する計画の立案・実施・改善診療内容の確認・検証などです。医療安全管理会議は、院内の医療安全に関する組織的な対策を審議し、最終決定

を行います。

今回ご紹介する医療安全推進会議は、多職種の間で連携し、毎年設定するテーマの実現に向けた計画・実践・検証を行う実働部隊です。

専従医療安全管理者 朝熊

インシデント・アクシデントレポートはたくさん報告される方が医療安全文化が醸成されていると考えられており、当院では、月に250件、年間3000件ほど報告されます。医療安全管理者はそれらすべてに目を通し、原因と対策が十分に検討されているか確認します。不十分な場合は、該当部署を訪問し部署責任者に内容を確認し再検討します。また報告されたレポートは医療安全管理室で集計・分析、問題点と改善案を検討しています。さらに、毎月開催される医療安全管理会議で各部門の管理者とアクシデント事例の共有や医療安全対策の標準化を図っています。

私は令和4年4月から専従医療安全管理者として活動しています。医療安全管理室に配属されるまでには、内科、外科、脳神経内科、脳神経外科、産婦人科、小児科とたくさんの診療科を経験してきました。その経験を活かし、組織横断的に活動しています。院内にはたくさんの専門家がいますので、多

職種で協働し、安全な医療を提供できるように努めています。

5F西看護主任 磯部

私は身体拘束最小化チームに所属し、普段は病棟で勤務しています。他の病棟の身体拘束に関するカンファレンスに参加し、学んだことや話し合った内容を自部署に持ち帰り、患者さんに寄り添ったケアを提案しています。部署内のカンファレンスを充実させるため、多職種と連携し、身体拘束を避けるための取り組みを進めています。昨年は「身体拘束ゼロ」をテーマに取り組み、サブテーマとして「患者の尊厳を守る」という目標を掲げました。身体拘束をするかしないかの判断にとどまらず、患者さんの尊厳を守るために本当に必要なケアを考え、ケアを充実させることで結果的に身体拘束がなくなるのではないかと考えのもとで1年間取り組みました。今年も引き続き、同様の取り組みを続けています。この活動を通じて、スタッフの考え方が変わり、患者さんの行動の背景を考慮するようになり、身体拘束の最小化が着実に進んでいると感じています。

血液浄化センター看護主任 小山

現在、多職種と連携してインシデントレポートの件数を増やす活動に取り組んでいます。インシデントレポートとは、医療事故(アクシデント)として患者に不利益が生じるその手前で未然に防げた事例(インシデント)のレポートです。これらのレポートにより、事例の原因を分析し、必要な対策を検討することができます。さらに、個人の

責任追究ではなく、病院全体の問題として共有できますし、職員の安全意識を高めることにも繋がります。今年度からは医療安全推進会議に研修医も加わり、インシデントレポートの意義を診療部門にも伝えていきたいと考えています。インシデントレポートにより報告する文化を根付かせ、安全文化を醸成させていきたいと思っています。

薬剤師主任 山中

思い込みやうっかりミスなどヒューマンエラーを防ぐことを目的に指差し呼称の推進に取り組んでいます。指差し呼称は、指で差し、目で見て、声に出し、耳で聞くことで脳に刺激を与え、無意識を意識に変える効果があります。昨年度は、院長をはじめ病院管理者の協力のもと啓発ポスターを作成、各部門の医療安全推進担当者による研修会の開催、指差し呼称ステッカーを配布する取り組みを行いました。さらに、今年度は指差し呼称を定着させる取り組みの一つとして院内ラウンドを行っています。指差し呼称の実施状況を多職種の視点で客観的に評価し、各部署へフィードバックしています。ヒューマンエラーによる医療事故のない療養環境を提供したいと考え活動しています。

最後に、稲田副院長は

「私たちは患者さんの安全と安心を最優先に考え、それを実現するための安全文化を醸成し、医療現場にしっかりと定着させていきたいと思っています」と力強く語った。

取材・撮影 TCK名古屋

教えるQ&A

「MCI(軽度認知障害)について」

〈脳神経内科医長 牧 聡樹〉

Q1 MCIってなに?

A MCIとは Mild Cognitive Impairment の略称で、健常

と認知症の中間にあたるグレーゾーンの段階を指します。記憶力や注意力などの認知機能に低下がみられるものの、日常生活に支障をきたすほどではない状態です。しかし、そのまま過すと約5年でその半数以上が認知症に進行すると言われています。最近の研究では、MCIの段階で適切な予防や治療を行えば、認知症の発症を防ぐことや遅らせることができるかと分かっています。

Q2 早期発見が重要なのは?

A MCIといってもその原因となる病気はたくさんあり、中には適切な治療や処置により回復が見込めるものもあります。例えば、正常圧水頭症、慢性硬膜下血腫、甲状腺機能低下症は治る認知症ともいわれており、早めに治療すれば改善が可能です。また、MCIの原因のうちで最も多い

Q3 アルツハイマー病の新薬が出たってききましたか?

A レカネマブという薬で、昨年12月に発売されました。病気の原因物質(アミロイドβ)を除去することで病気の進行を抑制する画期的な薬です。認知症の進行を約2〜3年遅らせると推定されています。アルツハイマー病早期(MCIと軽度認知症)の方が対象となるため、進行してしまった方には使用できません。アルツハイマー病以外の認知症には使用できないため、事前にPET検査もしくは脳脊髄液検査にて原因物質(アミロイドβ)の蓄積を確認する必要があります。また、安全性確認のため頭部MRI検査も必須になります。物忘れで気になる方は、かかりつけ医もしくは脳神経内科にご相談ください。

SUZUCHU 外来診療担当表 ※裏面の外来のご案内もご覧ください

診療科目		月	火	水	木	金
一般内科	初診	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
循環器内科	初診	太田覚史	大学医	渡邊清孝	山本彩人	北村哲也/喜多田昂祐
		北村哲也		牧野 翠		伊神明良
	再診	伊神明良(PM)		北村哲也	濱田正行	濱田正行
		渡邊清孝			太田覚史	牧野 翠(AM)
ペースメーカー外来	予約制			第1水曜日14:00~		第2金曜日14:00~
消化器内科	初診	向 克巳	松崎晋平(胆膵)	齊藤知規	岡野 宏(肝)	佐瀬友博
		田中宏樹(胆膵)	大内祐介	磯野功明	野村達磨	熊澤広朗
	再診	野村達磨(AM)	佐瀬友博	向 克巳(AM)	齊藤知規	大内祐介
		筏井勇斗/豊田純樹	向 克巳(AM)	西村 晃(肝・PM)	磯野功明	三谷隆敦/豊田純樹
血液内科	初診	川上惠基(血・腫)	大学医		水谷 実	
			川上惠基(血・腫)	水谷 実	川上惠基(血・腫)	
	再診		藪 晃大	岡田真名人		
				田中紘也		
腎臓内科	初診					
	再診	田中紘也(PM)	早川温子(PM)	高木幹郎(PM)		大橋智貴(AM)
一般内科	再診	山本伸仁(PM)			山本伸仁(AM)	
膠原病内科	初再診		大学医			
糖尿病内科	予約制(紹介のみ)			大学医(AM)		
腫瘍内科	再診					水野聡朗(腫)
眼科	初再診	佐々木拓	湯浅 湖	初診休診	佐々木拓	水野聡朗(腫)
		宇佐美勇輔			宇佐美勇輔	新家麻華
	新家麻華		新家麻華			
	再診	湯浅 湖	有馬美香		湯浅 湖	
レーザー治療(午後)	予約制	レーザー治療	レーザー治療	レーザー治療	レーザー治療	レーザー治療
斜視・弱視外来(午後)	予約制	斜視・弱視	斜視・弱視	斜視・弱視	斜視・弱視	斜視・弱視
眼内注射	予約制	眼内注射	眼内注射	眼内注射	眼内注射	眼内注射
小児科	初再診	藤原 卓	大矢和伸	松浦有里	松浦有里	大矢和伸
発達・神経外来	予約制					第1,3,5中野千鶴子
乳児検診	予約制			乳児検診(4カ月)		乳児検診(10カ月)
予防接種	予約制		予防接種			
小児リウマチ膠原病外来	予約制					第3 篠木敏彦
耳鼻咽喉科	初診	藤田祐一(紹介のみ)	初診休診	大学医・久保和之(紹介のみ)	大学医・久保和之(紹介のみ)	藤田祐一(紹介のみ)
金曜日のみ10:30迄	再診	久保和之	担当医	藤田祐一	藤田祐一	久保和之
FNA検査(午後)	予約制					FNA検査
呼吸器センター	初診	藤本 源	浅山健太郎	高木健裕	中原博紀	初診休診
		再診	中原博紀	岡野智仁(PM)	浅山健太郎	中原博紀/小久江友里恵
	初診	古田ちひろ(PM)	川野 理	川野 理	初診休診	深井一郎
		再診		中川啓輔(AM)		
心臓血管外科	初再診				伊藤久人	
外科	初診	中邑信一郎	赤尾希美	谷川寛自	濱田賢司	金児博司
				畑中友秀	(午後再診:濱田賢司)	
	再診	金児博司	中邑信一郎	説田守仁	赤尾希美	説田守仁
乳腺外来	月:予約制	加藤由紀子14:00~		今井奈央13:30~		
ストーマ外来	予約制(14:00~)			ストーマ外来	ストーマ外来	
整形外科	初診	長尾信人(紹介のみ)	國分直樹・藤井一剛	森川正和(紹介のみ)	横山弘和(紹介のみ)	藤井一剛
		再診	森川正和	長尾信人	(山田浩之)	長尾信人
	再診	藤井一剛	横山弘和	國分直樹	稲田 均(一般)	横山弘和
リウマチ	予約制			稲田 均(リウマチ)		稲田 均(リウマチ/一般)
脳神経外科	初再診	清水重利	担当医	清水重利	担当医	土屋拓郎(一般/脊髄)
ボトックス治療	予約制	土屋拓郎	浅田玲緒尚	担当医		浅田玲緒尚
脳神経内科	初診	川名陽介	佐羽勇輝	牧 聡樹	川名陽介	牧 聡樹
	再診	持田大輝		川名陽介	担当医	早川嘉彦
物忘れ外来	予約制	第1/3/5物忘れ外来				
皮膚科	初診	山際秋沙	大学医	山際秋沙	大学医(10:30迄)	初診休診
	再診					山際秋沙
精神科	完全予約		川喜田昌彦		川喜田昌彦	
緩和ケア内科	完全予約					第1/3/5日井正信(PM)
産婦人科	初診	丹羽正幸	丹羽正幸		(初再診)矢納研二	(初再診)丹羽正幸
	再診	矢納研二	矢納研二	丹羽正幸	丹羽正幸	(初診優先)
妊婦健診/助産師外来	予約制	妊婦健診/助産師外来	妊婦健診/助産師外来	妊婦健診/助産師外来	妊婦健診/助産師外来	妊婦健診/助産師外来
泌尿器科	初診	担当医	田中しおり	井上貴博	金井優博	橋本青摩
		再診	金井優博	橋本青摩	長谷川万里子	田中しおり
	再診	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
放射線治療科	完全予約	村田るみ	村田るみ・水野智貴	村田るみ・水野智貴	水野智貴	村田るみ・水野智貴
IVR科	完全予約				中塚豊真(AM)	中塚豊真
病理診断科	完全予約	村田哲也	村田哲也	村田哲也	村田哲也	村田哲也

(2024年10月1日現在)

お願い

内科からのお願い

◇血液内科への新患紹介で、水・金曜日にお急ぎのご紹介をいただきます折は、事前に血液内科医師水谷までご連絡ください

◇火曜日 膠原病/大学医内科の受付は紹介・コンサルテーションともに10:30迄となります 診察枠が限られていますので必ずご予約をお願いします

◇水曜日 糖尿病/腎臓は予約制です。診察枠が限られていますので必ずご予約をお願いします

小児科からのお願い

◇腎・尿路系疾患の紹介は月・火・木(下野医師)をお願いします

◇入院が必要な患者さまをご紹介いただきます折は、小児科外来に事前にご連絡ください

耳鼻咽喉科からのお願い

◇耳鼻科にご紹介の際は、【初診担当】宛てをお願いします

◇紹介状をご持参いただけない初診患者さまは診察できません

◇初診患者のご紹介は、月・水・木・金曜日をお願いします(金曜日のみ受付時間が8:30~10:30迄となります)

◇他施設からの二次健診は水・木をお願いします

脳神経外科からのお願い

◇ご紹介患者さまについてはご予約可能です。事前に診察情報提供書をFAXしていただき、ご予約をお取りください

泌尿器科からのお願い

◇ESWL(体外衝撃波結石破砕術)は現在行っておりません。ご了承ください

皮膚科からのお願い

◇ご紹介は月・火・水・木曜日をお願いします(木曜日のみ10:30まで) 手術目的のご紹介は月・水曜日をお願いします

眼科からのお願い

◇初診については、紹介患者さんのみとさせていただきます

◇二次健診にてご受診希望の場合は水曜日以外にご来院ください

呼吸器センターからのお願い

◇呼吸器センターのご予約方法
呼吸器センターは医療機関様、または紹介状をお持ちの患者様からご予約いただけます。
呼吸器センター直通TEL. 059-384-1025 (平日 8:30~17:00)

◇金曜日は呼吸器内科専門医での初診診察が不可のため、火急の肺炎患者さまを金曜日にご紹介いただく折は、「一般内科」にご紹介ください。呼吸器内科専門医での診療体制が整いましたら、呼吸器センター(内科)でお受けいたします。

健診センター「オリーブ」

◇人間ドック 脳ドック 肺がんドック 月・火・水・木・金曜日(予約制) 健診センターにて受付いたします
TEL059-384-1017

ご近所のお医者さま

※診療日について、都合から休診または代診となることがありますので、詳しくは、各医療機関にお問い合わせください。

当院の登録医院を毎回4機関ずつ紹介しております。

ながの歯科医院



院長 永納 彰洋
https://www.nagano-shika.com

◆診療科

●歯科 ●小児歯科 ●口腔外科

◆特色

患者さまとのコミュニケーションを重視した歯科医院です。十分な説明を行いご納得いただいたうえで治療を心がけております。歯科診療に関して疑問や不安があれば気軽にご相談ください。

●休診日
水曜日 日曜日 祝日

●診察時間
月~金曜日 9:00~13:00, 14:30~19:00
土曜日 9:00~14:00

●所在地
〒510-0312 津市河芸町久知野1264-1

●電話 059-273-6172
fax 059-273-6176

スターフィールドクリニック鈴鹿



院長 星野 優
https://www.starfield-suzuka.com

◆診療科

●内科 ●アレルギー科

◆特色

「気軽に相談できる」「可能な限り皆様のご要望に応えたい」そんな想いをもって患者さまと向き合っていく内科・アレルギー科クリニックです。

●休診日
火曜日 木曜日 毎月第4水曜

●診察時間
10:00~13:00 14:30~18:30

●所在地
〒513-0834 鈴鹿市庄野羽山4-1-2
イオンモール鈴鹿2F

●電話 059-389-7333
fax 050-3156-3743

みやた眼科



院長 宮田 良平
医師 宮田 真衣
https://mie-miyata-ganka.com/

◆診療科

●眼科

◆特色

白内障手術・硝子体手術 対応可能です。

●休診日
土曜日 日曜日 祝日

●診察時間
9:00~12:00 15:00~18:30

●所在地
〒510-0303 津市河芸町東千里260-3

●電話 059-244-0880
fax 059-244-0881

松本クリニック



院長 金原 香織

◆診療科

●内科 ●外科 ●乳腺外科

◆特色

マンモグラフィー 乳腺エコー検査可

●休診日
木曜 土曜午後 日曜 祝日

●診察時間
9:00~12:00 14:00~17:00

●所在地
〒510-0227 鈴鹿市南若松町245

●電話 059-388-4000
fax 059-388-4016

あなたからの声を、心からお待ちしています

募集!

看護補助員(病棟・外来補助業務)パート
調理員(調理補助・給食業務全般)正社員、パート
管理栄養士(調理補助・栄養指導・給食業務全般)パート

お問い合わせ先 看護補助員:看護部 059-382-1311 調理員・管理栄養士:栄養科 059-384-1029

地域連携NOW!!



INFORMATION

鈴鹿中央総合病院

研修会を行います。

本研修会は、地域の医療従事者を対象に新しい医療のあり方や見識を高めるため、毎月定期的に勉強会を行い地域医療技術向上を目的としています。
お問合せ先 地域連携室 TEL.059-384-1057 (直通)

学術講演会

日時 令和6年10月24日(木曜日) ●18:15~19:30

●鈴鹿中央総合病院/2階講義室

座長 鈴鹿中央総合病院 院長補佐 太田 寛史

特別「心不全ステージ早期からの治療介入の重要性
～SAVE-HF試験から考える～」

演者：三重大学大学院医学系研究科 循環器・腎臓内科学
教授/土肥 薫先生

申込URL : <https://qr.paps.jp/5EBEp>



日時 令和6年11月25日(月曜日) ●18:30~19:30

●鈴鹿中央総合病院/2階講義室

座長 鈴鹿中央総合病院 眼科部長 湯浅 湖

特別講演 「眼科診療の進歩と最近の話題」

演者：三重大学大学院医学系研究科 臨床医学系講座 眼科学
教授/近藤 峰生先生

12月 未定

肺がん検診のための胸部単純X線症例検討会

●鈴鹿中央総合病院/北館2階講義室
「持ち寄り症例相談」●19:15~



RCC

●午前7:30~8:00

RCC: Resident Case Conference

●鈴鹿中央総合病院/北館2階講義室1

演題 「臨床研修医の経験症例発表」



BCT ●午前7:30~8:00

※事情により予定変更する場合があります BCT: Basic Clinical Teaching

●鈴鹿中央総合病院/北館2階講義室1

日時 令和6年10月2日(水曜日)

演題 「心不全」

演者：循環器内科/渡邊清孝

日時 令和6年10月9日(水曜日)

演題 「抗菌剤適正使用」

演者：薬剤部/九鬼大作

日時 令和6年10月16日(水曜日)

演題 「肺炎」

演者：呼吸器内科/中原博紀

日時 令和6年10月23日(水曜日)

演題 「小児の発熱と痙攣」

演者：小児科/下野吉樹

日時 令和6年11月6日(水曜日)

演題 「適正輸血」

演者：血液内科/水谷実

日時 令和6年11月20日(水曜日)

演題 「尿閉・血尿」

演者：泌尿器科/金井優博

日時 令和6年12月4日(水曜日)

演題 「脳血管障害」

演者：脳神経外科/堀内康孝

日時 令和6年12月18日(水曜日)

演題 「骨折」

演者：整形外科/長尾信人

SUZUCHU

HOT LINE 人生を最期まで穏やかに過ごしていただくことを目指して

令和6年4月より、緩和ケア病棟の医師として着任いたしました、湯浅美鈴です。大学に行くまで、ここ鈴鹿で育ち、初めて地元に戻ってまいりました。



▲緩和ケア病棟スタッフ

●緩和ケアで行う医療やケア

緩和ケアは、がんや診断された時から行われている治療やケアの1つです。具体的には、痛みやその他のつらい症状を和らげるだけでなく、不安や気持ちの辛さに対しても、看護師、薬剤師、リハビリ技師、心理士などの多職種で対応し、患者さんの生活の質の向上を目指します。また患者さんの家族への支援も行います。

●緩和ケア病棟へ入院対象となる患者さん

「緩和ケア病棟」と聞くと、「もう治療が出来なくなった人が行く場所で、何もしてくれないでしょ?」と言われる方もいらっしゃるかもしれませんが、そうではありません。実際に以下のような様々な目的で過ごしていただいています。

- ・手術や化学療法後に体調がすぐれない場合の症状をやわらげ、次の治療へ備える。
- ・自宅や施設へ退院出来るように、痛みやつらい症状をコントロールする。
- ・人生の最期の時まで、穏やかに過ごせることを支援する。
- ・自宅でのご家族の介護の負担を減らすために短期間(1週間以内)療養する。(レスパイト入院)



●緩和ケア病棟へ入院をご希望される場合

入院を希望される場合や、緩和ケア病棟の見学を希望される場合、あるいは何かご不明な点があれば、かかりつけ医および当院の地域連携室へご相談ください。今後も、スタッフ一同、皆様の穏やかな生活を支援できるよう努めてまいります。

◀湯浅美鈴医師



外来のご案内

◆診療受付時間/午前8:30~11:30まで

- 診療科により診療日、診療時間が異なる場合があります。
- 再来受付機のご利用は午前7:50から

◆休診日

- 都合により、事前連絡なく代診・休診になる場合があります。ご了承ください。
- 土曜日・日曜日・祝日・年末年始(12月30日~1月3日)
- 緊急の場合は休診日や診療時間帯に関わらずお問い合わせください。
- ☎ 059-382-1311 (代)

◆診療申込み

初診の方および、受診する科が初めての方は診療申込用紙に必要事項をご記入の上、必ず保険証とあわせて新患受付にお出しください。

◆患者さまへのご案内

- 診察券はご来院の際、必ずお持ちください。各科共通で永久使用しています。
- 毎月1回、保険証の確認を行っております。3ヶ月以上、確認が取れない場合は再来受付機での受付ができません。保険証に変更が

ある場合は必ず受付までお申し出ください。

- 受診の際、お車で越しの方は駐車整理券を会計後お出しいただき、駐車料金無料の磁気処理をお受けください。
- 外来担当者が都合により代診や休診になる場合があります。ご了承の程よろしくお祈りいたします。
- ◆紹介状をお持ちの方
 - 紹介患者さま専用受付を設置いたしております。紹介状をお持ちの場合は紹介受付へお越しください。係の者がご案内させていただきます。
- ◆保険外併用療養費(選定療養費)について
 - 初診で紹介状をお持ちでない場合は、選定療養費として7,700円(税込)をいただきます。紹介状をお持ちいただければ7,700円(税込)は不要となります。
 - 再診の患者さまで下記に該当されます折は選定療養費として3,300円(税込)をいただきます。

- ①かかりつけ医への紹介を受けたが、紹介状なしに再受診された場合
- ②病状が安定した後も当院での通院を希望さ

れる場合(事前に担当医よりかかりつけ医への紹介を提案させていただきます)

◆セカンドオピニオン外来のご案内

●当院ではセカンドオピニオン外来を行っております。★完全予約制★ご予約、お問い合わせは、地域連携室にて承っております。

予約・問い合わせ受付時間

月~金 9:00~16:00(年末年始・土・日・祝日除く)

☎ 059-384-1057

※ご予約は医療機関からの申込のみとなります。

病院の理念

良質で高度な医療を提供することにより、地域の皆様に信頼され、選ばれる病院でありたい。

病院の目標

- 1.患者さまの尊重重視と、公正な医療の提供
- 2.最新で高度な医療の提供
- 3.医師の説明と、患者さまの選択に基づく医療の提供
- 4.情報の開示と、セカンドオピニオンの推進
- 5.地域医療ネットワークの推進

かんわ
緩和
ケア